

12 シンポジウムの及ぼす効果

13 想定しているシンポジウムへの参加者層及び参加者数

14 シンポジウムのプログラム内容

15 準備 経費	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください

16 開 催 経 費	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください

17 シンポジウムの基になる研究の研究経過・研究成果等

①研究費及び研究種目

②研究課題名

③研究期間

年度 ～

年度

④研究費の総額

万円

⑤研究経過・研究成果

⑥研究組織			
氏名（年齢）	所属研究機関・部局・職名	現在の専門	研究での役割分担

⑦過去5年間の主な論文（本シンポジウムの内容に関連するもので、本研究者グループの構成員が著者として発表したものを、最近のものから順に過去にさかのぼって記入してください。）

氏名	発表論文・著書名	発表年月日

平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（A）」計画調書記入要領

様式1の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。（所定の様式の改変は認められません。）
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 計画調書の左端を必ず糊付け（ホッチキス止め、クリップ止めは不可）してください。ただし、副本のうち1部は糊付けせずに、クリップ止めして提出してください。
- (5) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」（カンマ）を入れてください。

1 研究者グループ代表者自宅住所

応募者（研究者グループ代表者）の自宅住所を記入してください。

2 代表者氏名

記名押印又は署名をし、氏名には「ふりがな」を付してください。

3 所属機関 部局 職名

計画調書を作成する時点の所属機関、部局、職名を記入してください。

4 郵便物送付先住所等

こちらから郵便物を送付する際の住所・氏名・電話番号・FAX番号等を記入してください。

5 シンポジウム名

一般国民にも分かりやすく、広く国民に関心を持たれるようなものとし、40字以内で記入してください。なお、40文字以内で表すことができない場合には、40字以内で記入する主題とは別に、副題を記入しても差し支えありません。

6 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、審査希望分野の一つを選んで、該当する番号を○で囲んでください。

7 開催予定日

開催予定日を記入してください。

8 開催予定会場名、開催予定地

開催予定会場名は応募時点で予定している会場名を記入してください。開催予定地は市町村レベルで記入してください。

9 シンポジウムの目的

シンポジウムの基になる研究の特色なども含め、本シンポジウムを開催する意義など焦点を絞り、具体的かつ明確に記入してください。

10 シンポジウムの概要

広く国民の関心と呼ぶテーマ・内容であることが具体的にわかるように記入してください。

11 課題番号

平成18年度開催経費の内約を受けている場合には、平成17年4月1日付研究振興局長通知で指定された課題番号（7桁）を記入してください。

12 シンポジウムの及ぼす効果

シンポジウムを行うことによって社会に及ぼす効果を簡潔に記入してください。

13 想定しているシンポジウムへの参加者層及び参加予定者数

想定している参加者層（例：高校生、大学生・院生、社会人一般、研究者）及び参加予定者数を記入してください。

14 シンポジウムのプログラム内容

誰がどのような内容の発表をするのか、具体的にプログラムの内容を記入してください。なお、一般国民を対象として行うことから、講演は全て日本語で行うことが望ましい、そのため研究者グループの中に外国人を加える場合には、その者が、日本語で講演を行うことができるかどうかを明記してください。

15 準備経費

2年計画で、平成18年度（1年目）にシンポジウムの準備を行う場合のみ、この欄に経費を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を準備するために必要な会場借料
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 代表者、分担者及び講演者の出張のための経費
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等）、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

16 開催経費

平成18年度にシンポジウムを開催する場合、又は2年計画で平成19年度（2年目）にシンポジウムを開催する場合は、この欄に経費を記入してください。

なお、2年計画で平成18年度（2年目）の事業は、内約額の範囲内で計画を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 代表者、分担者及び講演者の出張のための経費
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等）、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

17 シンポジウムの基になる研究の研究経過・研究成果等

シンポジウムの基になる研究について記入してください。なお、シンポジウムの基になる研究が複数ある場合には、様式1のうち「A-4-□」及び「A-5-□」を追加して、その研究ごとに作成してください。その場合 □ には研究ごとの番号を記入してください。

(例) シンポジウムの基になる研究が2件ある場合

1件目の研究：「A-4-1」、「A-5-1」

2件目の研究：「A-4-2」、「A-5-2」

平成 1 8 年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費)
「研究成果公开发表 (A)」計画調書 (講演収録集)

1 研究者グループ 代表者自宅住所	〒		
2 代表者氏名	印		
3 所属機関・部局・職名			
4 郵便物送付先住所等	〒	FAX:	E-mail:
	TEL:		

5 収録集の名称		6 審査希望分野		1 人文学	2 社会科学
				3 数物系科学、化学	4 工学
				5 生物学、農学	6 医歯薬学
7 判型	8 ページ数	9 発行部数			
		市販用	その他 (30部まで)	計 (C)	
判	頁	部	部	部	
10 直接出版費 (税込) (A)		11 定価 (税込) (B)		12 卸売価格 (税込)	
円		円		円	
				13 1部当たりの原価 (A) / (C)	
円		円		円	
14 応募経費	合計		費目別内訳		
			謝金	出版費	
	千円	千円	千円		
15 発行予定年月日 (当該年度の2月末日まで)		平成 年 月 日			
16 収録集刊行の目的					
17 課題番号					
				整理番号	受付番号

18 収録集刊行の概要（シンポジウムの開催状況も含め記入してください）

19 収録集の目次

見 積 書

〈平成18年度 研究成果公開発表 (A) (講演収録集)〉

(研究者グループ代表者名)

平成 年 月 日

殿

(見積者)

住所

氏名

印

収録集の名称							
判 型	組 方	本 文 主 要 活 字	字 詰 ・ 行 数	ペ ー ジ 数	発 行 部 数		
					市 販 用	そ の 他	計 (C)
判	縦 横 段	ポ	字 × 行	頁	部	部	部

		数 量 (頁)	単 価 (円)	金 額 (円)			数 量	単 価 (円)	金 額 (円)		
組 版 代	本文				印 刷 代	文・刺・図	台				
	索引					写 真					
	図表					扉					
	写真					表紙					
	扉					カバー					
	表紙					小計(d)					
	カバー										
	小計(a)										
		種	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)			種	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)
製 版 代	文・刺・図				用 紙 代	写 真	枚				
	写 真					扉	枚				
	扉					表紙	枚				
	表紙					カバー	枚				
	カバー					小計(e)					
	色分解代	点									
							数 量	単 価 (円)	金 額 (円)		
刷 版 代	工賃				製 版 代	板紙	枚				
	小計(b)					クローズ	本				
	文・刺・図	版				小計(f)					
	写 真	版				計 ((a)+(b)+(c)+(d)+(e)+(f))			円		
	扉	版				消 費 税			円		
表紙	版					合 計 (A) 〈直接出版費(税込)〉			円		
カバー	版										
小計(c)											

定価 (税込) (B)	卸売係数	卸売価格 (税込)	1部当たりの原価 (直接出版費(税込)(A)÷発行部数計(C))
円	%	円	円

出版社等への原稿組入日 : 平成 年 月 日

発行予定年月日 : 平成 年 月 日

平成18年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)
「研究成果公开发表(A)」(講演収録集)計画調書記入要領

様式2の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。(所定の様式の改変は認められません。)
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」(カンマ)を入れてください。

1 研究者グループ代表者自宅住所

応募者(研究者グループ代表者)の自宅住所を記入してください。

2 代表者氏名

記名押印又は署名をし、氏名には「ふりがな」を付してください。

3 所属機関 部局 職名

計画調書を作成する時点の所属機関、部局、職名を記入してください。

4 郵便物送付先住所等

こちらから郵便物を送付する際の住所・氏名・電話番号・FAX番号等を記入してください。

5 収録集の名称

当該シンポジウム名を基本とし、当該収録集の表紙等に表示する主題を記入してください。

6 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、前年度応募した分野の一つを選んで、該当する番号を○で囲んでください。

7 判型

見積書に記載された「判型」を記入してください。

8 ページ数

見積書に記載された「ページ数」を記入してください。

9 発行部数

見積書に記載された「発行部数」の「市販用」、「その他」及び「計(C)」を記入してください。
なお、「その他」(市販以外)は30部までとなっているのでご注意ください。

10 直接出版費(税込)(A)

見積書に記載された「合計(A)〈直接出版費(税込)〉」を記入してください。

11 定価(税込)(B)

見積書に記載された「定価(税込)(B)」を記入してください。

12 卸売価格 (税込)

見積書に記載された「卸売価格 (税込)」を記入してください。(円未満は切り捨ててください。)

13 一部当たりの原価 (A) / (C)

見積書に記載された「一部当たりの原価」を記入してください。(円未満は切り捨ててください。)

14 応募経費

経費は千円単位で記入してください。300万円以内とします。

合計欄は2つの費目(謝金、出版費)の合計を記入してください。(該当する費目がない場合は「0」を記入してください。)

〈対象となる経費〉

- ・謝金 テープ起こしの為の経費
- ・出版費 講演収録集発刊に係る経費(組版代、製版代、刷版代、印刷代、用紙代、製本代)

15 発行予定年月日

本補助事業のスケジュール(当該年度の2月末日までに発行)に留意して、出版社等とよく相談の上、記入してください。

16 収録集刊行の目的

本収録集を刊行する目的、意義を記入してください。

17 課題番号

平成17年4月1日付研究振興局長通知で指定された課題番号(7桁)を記入してください。

18 収録集刊行の概要

当該収録集の刊行の概要をシンポジウムの開催状況を含め、できるだけ具体的に記入してください。

19 収録集の目次

当該収録集の目次の項目を列記してください。

〈その他の留意事項〉

本補助金による刊行とその重版は、無印税とし著者・著作権者・編者に一切の利益が生じないようにすること。

刊行に当たっては、出版社(発行所)と応募者との間で本補助金の制度について合意を得た上で、応募書類を作成してください。

なお、提出期限は、平成18年2月27日(月)～3月2日(木)となっておりますのでご注意願います。

平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（B）」計画調書

1 主催団体の所在地	〒		
2 主催団体名		代表者職名	
		代表者氏名	印
3 シンポジウム・学術講演会等名	4 審査希望分野	1 人文学 3 数物系科学、化学 5 生物学、農学	2 社会科学 4 工学 6 医歯薬学
5 開催予定日：平成 年 月 日（ ） 時 ～ 時			
6 会場名：		開催地：	
7 シンポジウム・学術講演会等の目的			

整理番号		受付番号	
------	--	------	--

8 シンポジウム・学術講演会等の概要

9 シンポジウム・学術講演会等の対象（○印（複数可）を付し、このうち主たる対象となるものに、◎印を付して主たる対象とした理由を理由欄に記入してください。）

1 小学生

2 中学生

3 高校生

4 大学生

5 社会人

（主たる対象とした理由）

10 参加予定者数：

人

⑪ 応募 経 費	合 計	費 目 別 内 訳			
		会場借料	消耗品費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円

【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください

⑫ シンポジウム・学術講演会等が及ぼす効果

13 過去3年間に実施した青少年・社会人対象のシンポジウム・学術講演会等開催状況

シンポジウム・学術講演会等名	開催日	開催場所	対象者	参加者数

14 過去に科学研究費補助金を受けた実績

採択 年度	シンポジウム・学術講演会等名	開催日	開催場所	対象者	参加者数実 績（予定）

15 前年度の応募状況： 応募有（採択・不採択） ・ 応募無

16 主催団体 事務連絡先	職名
	氏名
	TEL: (内線) E-mail:
	FAX:

**平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（B）」計画調書記入要領**

様式3の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。（所定の様式の改変は認められません。）
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 計画調書の左端を必ず糊付け（ホッチキス止め、クリップ止めは不可）してください。ただし、副本のうち1部は糊付けせずに、クリップ止めして提出してください。
- (5) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」（カンマ）を入れてください。

1 主催団体の所在地

主催団体の所在地を記入してください。

2 主催団体名 代表者職名 氏名

主催団体（学会等）名は、正式名称を記入してください。また、法人格を有している場合には、社団法人、財団法人等も省略せずに記入してください。（主催団体名であり、支部名での応募は不可）

代表者職名は、主催団体（学会等）の代表者職名（例：会長、理事長）を記入し、代表者氏名は、記名押印（職印）又は署名をしてください。なお、法人格を有していない任意団体において、職印がない場合には、代表者は、個人印を押印してください。

3 シンポジウム・学術講演会等名

一般国民にも分かりやすく、広く国民に関心を持たれるようなものとし、40字以内で記入してください。なお、40文字以内で表すことができない場合には、40字以内で記入する主題とは別に、副題を記入しても差し支えありません。

また、同じ内容でシンポジウム・学術講演会等を2カ所以上で開催する場合には、地区名等を入れて別々に応募してください。

（良い例：第〇回〇〇のための公開シンポジウム「人間の感情を左右する脳の働きについて」）

（悪い例：〇〇学会第〇回特別講演「公開シンポジウム」）

4 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、審査希望分野を一つ選んで、該当する番号を○で囲んでください。

5 開催予定日

平成18年7月1日から平成19年3月31日までの間で開催予定日を記入してください。

開催日数は、原則として1日です。

6 会場名、開催地

会場名は具体的に記入してください。開催地は市町村レベルで記入してください。

7 シンポジウム・学術講演会等の目的

社会的背景なども含め、本シンポジウム等を開催する意義など焦点を絞り、具体的かつ明確に記入してください。

8 シンポジウム・学術講演会等の概要

参加対象に応じたテーマ・内容であることが具体的にわかるよう記入してください。

9 シンポジウム・学術講演会等の対象

研究者や教員のみを対象とするシンポジウム・学術講演会等は、応募の対象となりません。

「1 小学生」、「2 中学生」、「3 高校生」、「4 大学生」、「5 社会人」の中から、該当する番号を○で囲み（複数可）、このうち、主たる対象となるものに◎印を付して、主たる対象とした理由を理由欄に記入してください。

10 参加予定者数

会場の収容可能人数ではなく、実際の参加予定人数を記入してください。

11 応募経費

経費は千円単位で記入してください。

合計欄は4つの費目（会場借料、消耗品費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

12 シンポジウム・学術講演会等が及ぼす効果

シンポジウム・学術講演会等の開催によって参加者に及ぼす効果を記入してください。

13 過去3年間に実施した青少年・社会人対象のシンポジウム・学術講演会等開催状況

最近のものから過去にさかのぼって順に記入してください。シンポジウム等名・開催日・開催場所・対象者・参加者数等を記入してください。

14 過去に科学研究費補助金を受けた実績

過去に本補助金を受けて開催されたシンポジウム・学術講演会等がある場合には、最近のものから過去にさかのぼって順に記入してください。採択年度・シンポジウム等名・開催日・開催場所・対象者・参加者数等を記入してください。

なお、参加者数欄には、必ず当該補助金を申請した際の参加予定者数を参考に（ ）書きで記入し、計画と実績を示してください。

15 前年度の応募状況

今回応募するシンポジウム・学術講演会等と同趣旨のものを前年度に開催した場合、その応募状況について、該当する項目（「応募有」又は「応募無」の別）を○で囲んでください。また、前年度に応募した場合には、「採択」又は「不採択」の別についても、該当するものを○で囲んでください。

16 主催団体事務連絡先

「主催団体」の事務担当者の職名、氏名、電話番号等を記入してください。

平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（C）」計画調書

① 主催団体の所在地		〒			
② 主催団体名		代表者職名			
		代表者氏名		印	
③ 国際シンポジウム・国際会議等名		和文名： (英文名)		④ 審査希望分野	
				1 人文学 2 社会科学 3 数物系科学、化学 4 工学 5 生物学、農学 6 医歯薬学	
⑤ 開催予定日： 平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 () (日間)					
⑥ 会場名：			開催地：		
⑦ 青少年・一般社会人を対象としたシンポジウム等の有無： 1. 有 2. 無					
⑧ 国際シンポジウム・国際会議等開催の目的					
⑨ 課題番号					
		整理番号		受付番号	

10 国際シンポジウム・国際会議等の概要

11 国際シンポジウム・国際会議等のプログラム内容（1日目、2日目等として記入してください。）

12 国際シンポジウム・国際会議等における外国人演者の氏名及び主な業績		
氏名	所属・職名	主な業績
13 国際シンポジウム・国際会議等開催の準備状況		
14 参加 予定 者数	参加予定者総数	うち外国人参加予定者数 (外国人の参加国数)
	人	人 (か国)

< 1年計画又は2年計画の2年目（平成18年度開催）の場合 >

15 平開 成催 18経 年費 度	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	そ の 他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください						

< 2年計画（平成18年度準備・平成19年度開催）の場合 >

16 平準 成備 18経 年費 度	合 計	費 目 別 内 訳			
		会場借料	消耗品費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円
【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください					

17 平開 成催 19経 年費 度	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	そ の 他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください						

18 学会の国際的活動

19 国際シンポジウム・国際会議等の実績（過去5年間について，最近のものから順に過去にさかのぼって記入してください。）

国際シンポジウム・国際会議等名	開催日	開催場所	参加国数	参加者数

20 共催の有無について（共催のあるものについては、その組織名と会議における役割・位置付けについて記入してください。）

21 日本学術会議の「共同主催国際会議」の応募の状況

応募有 ・ 応募無

22

主催団体
事務連絡先

職 名
氏 名
TEL:
FAX:

(内線) E-mail:

**平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（C）」計画調書記入要領**

様式4の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。（所定の様式の改変は認められません。）
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 計画調書の左端を必ず糊付け（ホッチキス止め、クリップ止めは不可）してください。**ただし、副本のうち1部は糊付けせずに、クリップ止めして提出してください。**
- (5) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」（カンマ）を入れてください。

1 主催団体の所在地

主催団体の所在地を記入してください。

2 主催団体名 代表者職名 氏名

主催団体（学会）名は、正式名称を記入してください。また、法人格を有している場合には、社団法人、財団法人等も省略せずに記入してください。（主催団体名であり、支部名での応募は不可）

代表者職名は、主催団体（学会）の代表者職名（例：会長、理事長）を記入し、代表者氏名は、記名押印（職印）又は署名をしてください。なお、法人格を有していない任意団体において、職印がない場合には、代表者は、個人印を押印してください。

3 国際シンポジウム・国際会議等名

和文名を記入してください。また、下段に（英文名）を記入してください。

4 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、審査希望分野を一つ選んで、該当する番号を○で囲んでください。

5 開催予定日

開催予定日を記入してください。

6 会場名、開催地

会場名は具体的に記入してください。開催地は市町村レベルで記入してください。

7 青少年・一般社会人を対象としたシンポジウム等の有無

本国際シンポジウム・国際会議等のプログラムの中において、青少年・一般社会人を対象としたシンポジウム等の開催の有無について該当する番号を○で囲んでください。

8 国際シンポジウム・国際会議等開催の目的

国際シンポジウム・国際会議等開催の目的、意義及び国際的活動における本国際シンポジウム等の位置付け、本国際シンポジウム等を開催することになった経緯を簡潔に記入してください。

9 課題番号

平成18年度開催経費の内約を受けている場合には、平成17年4月1日付研究振興局長通知で指定された課題番号（7桁）を記入してください。

10 国際シンポジウム・国際会議等の概要

我が国と世界の研究者に研究交流の場を提供するテーマ・内容であることが具体的にわかるように記入してください。

11 国際シンポジウム・国際会議等のプログラム内容

1日目、2日目等それぞれ具体的なプログラム内容を記入し、演者が決まっている場合には、演者名も記入してください。（挨拶、休憩等の記入は不要）

12 国際シンポジウム・国際会議等における外国人演者の氏名及び主な業績

今回応募する本国際シンポジウム・国際会議等での外国人演者の氏名・所属・職名・主な業績を記入してください。

13 国際シンポジウム・国際会議等開催の準備状況

応募時点での準備状況を記入してください。

14 参加予定者数

参加予定者の総数を記入し、うち外国人参加予定者数（外国人の参加国数）を記入してください。

15 平成18年度開催経費

平成18年度に国際シンポジウム・国際会議等を開催する場合は、この欄に経費を記入してください。なお、2年計画で平成18年度（2年目）の事業は、内約額の範囲内で計画を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 特別講演等のため来日する外国人研究者の招へい旅費（交通費、滞在費）
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

16 平成18年度準備経費

2年計画で、平成18年度（1年目）に国際シンポジウム・国際会議等の準備を行う場合は、この欄に経費を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は4つの費目（会場借料、消耗品費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を準備するために必要な会場の借料
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・謝金 事業準備への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

17 平成19年度開催経費

2年計画で、平成19年度（2年目）に国際シンポジウム・国際会議等の開催を行う場合は、この欄にも経費を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

＜対象となる経費＞

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 特別講演等のため来日する外国人研究者の招へい旅費（交通費、滞在費）
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

18 学会の国際的活動

学会の国際的活動の位置付けと、国際的活動の内容を具体的かつ明確に記入してください。

19 国際シンポジウム・国際会議等の実績

過去5年間に開催された国際シンポジウム・国際会議等名、開催日、開催場所、参加国数及び参加者数を最近のものから過去にさかのぼって順に記入してください。

20 共催の有無について

今回応募する本国際シンポジウム・国際会議等を共催で開催する場合には、共催する団体名及び組織名と本国際シンポジウム・国際会議等における役割・位置付けを具体的に記入してください。

なお、本補助金は、応募学会等が主体となって開催するものを対象としています。

21 日本学術会議の「共同主催国際会議」の応募状況

今回応募する本国際シンポジウム・国際会議等について、日本学術会議の「共同主催国際会議」の応募状況について、該当する項目（「応募有」又は「応募無」の別）を○で囲んでください。

22 主催団体事務連絡先

「主催団体」の事務担当者の職名、氏名、電話番号等を記入してください。